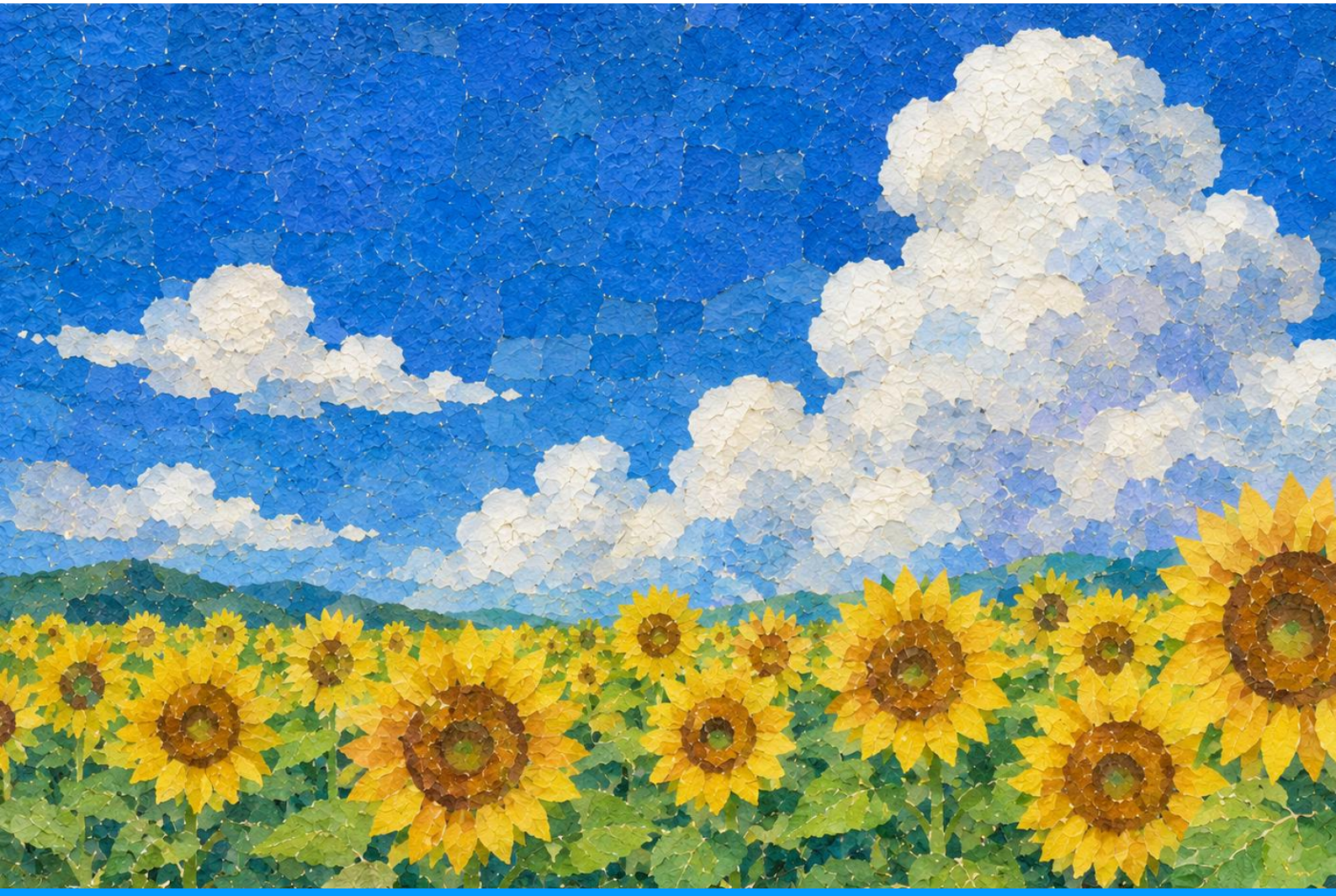
最前線で活躍するスタッフのみなさんへ

Frontliner［フロントライナー］

8

2026 vol.54



topics

① 生活道路での自動車の法定速度が30㎞/h に

② 今月のクレーム・事故事例

日本保健衛生協会

topics ①

生活道路での自動車の法定速度が30㎞/h に

令和８年９月１日から、生活道路では法定速度が30㎞/h に引き下げられます。
日常的に自動車を運転する方は、この法改正を機に、日ごろの安全意識や制限速度の考え方を見直してみるのもよいのではないでしょうか。

なぜ制限速度が引き下げられたの？

住宅街などの生活道路は、歩行者や自転車、高齢者、子どもが多く利用するため、事故が起きると被害が大きくなりやすい場所です。そこで、法定速度が60㎞/hから30㎞/hに引き下げられました。車の速度が30㎞/hを超えると、歩行者と事故を起こした際の死亡リスクが大幅に高まります。この引き下げは、人の命を守り、より安全な道路環境をつくることを目的としています。

生活道路ってどんな道路？

生活道路とは、おもに地域の住民が日常生活に利用する、中央線や中央分離帯などがない比較的狭い道路のことです。



生活道路の一例

生活道路での走行のポイント

● 速度を守り、状況に合わせて走行しましょう

法定速度や規制速度を守ることはもちろん、状況に応じて、いつでも止まれる安全な速度で走行しましょう。

● 危険を予測して運転しましょう

子どもの飛び出しや自転車の急な進路変更など、生活道路には思わぬ危険が潜んでいます。常に危険を予測して運転しましょう。

● 一時停止と安全確認を徹底しましょう

生活道路には、信号のない交差点や見通しの悪い場所が多くあります。必ず一時停止し、左右の安全を確認してから走行しましょう。

● 歩行者・自転車を優先しましょう

歩道のない道路で歩行者や自転車の近くを通るときは、１メートル程度の間隔をあけるか、徐行しましょう。

● 抜け道として利用しないようにしましょう

生活道路は、地域の方々が日常的に使う道路です。時間短縮や渋滞回避のための通り抜けはやめましょう。

出典：警視庁「広報啓発リーフレット」を参考に作成。

topics ② 今月のクレーム・事故事例

2026年7月度

- クレーム件数　0 件（2026年累計　1件）
- 事 故 件 数　1 件（2026年累計　8件）

事例 手術ベッドを移動させる際、ベッドの車輪で足をはさんだ

発生状況	手術ベッドの移動時、スタッフAが頭部側から引き、スタッフBが脚部側から押していた。 移動中、スタッフAの後ろを医師が通ろうとしたため、スタッフAはベッドを引くのを止めた。 しかし、ベッドはすぐに停止せず、車輪がスタッフAの左足を挟んでしまった。
発生原因	・医師がスタッフAの後ろを通ろうとしたとき、スタッフ同士で声をかけて注意を促さなかった。 ・手術ベッドの進行方向に足を置いていた。
対　策	● 手術ベッドを2人で移動させるときは・・・

